データ抽出：医事・健診
コメント作成：脳神経内科

脳梗塞患者に対するtPA使用率

目的

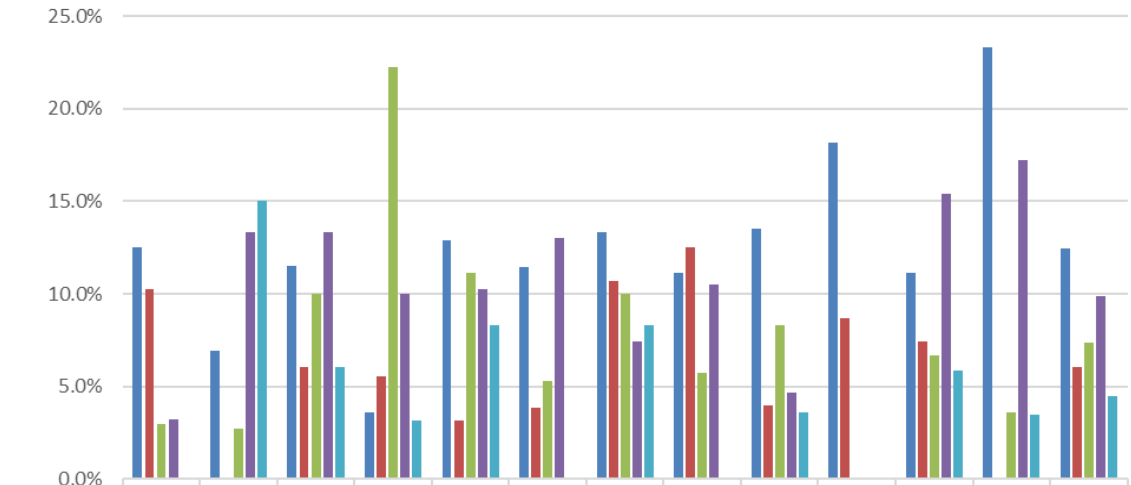
超急性期脳梗塞の治療（発症後24時間）の指針となるtPAの実施状況を示す

分母

脳梗塞の患者の退院数

分子

脳梗塞の退院患者の内、入院中にtPAを使用した患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
2019年度	12.5%	6.9%	11.5%	3.6%	12.9%	11.4%	13.3%	11.1%	13.5%	18.2%	11.1%	23.3%	12.5%
2020年度	10.3%	0.0%	6.1%	5.6%	3.1%	3.8%	10.7%	12.5%	4.0%	8.7%	7.4%	0.0%	6.0%
2021年度	2.9%	2.7%	10.0%	22.2%	11.1%	5.3%	10.0%	5.7%	8.3%	0.0%	6.7%	3.6%	7.4%
2022年度	3.2%	13.3%	13.3%	10.0%	10.3%	13.0%	7.4%	10.5%	4.7%	0.0%	15.4%	17.2%	9.9%
2023年度	0.0%	15.0%	6.1%	3.1%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	3.6%	0.0%	5.9%	3.4%	4.5%

データ抽出内容

①各年度の月平均退院患者数　2019年度n＝30人　2020年度n＝29人　2021年度n＝28人　2022年度n＝28人 2023年度n＝25人
②患者数は、一連の入院から退院をもって1とカウントとする。
③010060「脳梗塞」の診断群分類の患者を対象とし、内、入院中にtPA（当院採用クリアクター静注用）を使用した患者をカウントする。よって、併存症として脳梗塞がある患者は対象としない。

データ分析コメント

最近数年と比較して、tPA投与症例数は若干減少しています。tPAの適応にわずかに外れる症例がみられたが、カテーテル治療を行い対処できる症例が増えています。